



## ファイアウォール情報

この章は、次の項で構成されています。

- [ファイアウォール情報 \(1 ページ\)](#)

## ファイアウォール情報

次の表は、Cisco コンテンツセキュリティライセンスを正常に動作させるために開けなければならないことがあるポートのリストです (デフォルト値を示す)。

表 1: ファイアウォール ポート

| デフォルトポート | プロトコル | 内外 (In/Out) | ホストネーム             | 目的   |
|----------|-------|-------------|--------------------|--|
| 20/21    | TCP   | In または Out  | AsyncOS IP、FTP サーバ | ログ ファイルのアグリゲーション用 FTP。<br>データポート TCP 1024 以上はすべて開いている必要があります。<br>詳細については、ナレッジベースの FTP ポート情報を検索してください。 <a href="#">ナレッジベース</a> を参照してください。 |
| 22       | [TCP] | 入力          | AsyncOS IP         | CLI への SSH アクセス、ログ ファイルのアグリゲーション。  |
| 22       | [TCP] | 発信 (Out)    | SSH サーバ            | ログ ファイルの SSH アグリゲーション。   |

|     |         |             |                        |   |
|-----|---------|-------------|------------------------|---|
| 22  | [TCP]   | 発信<br>(Out) | SCP サーバ                | ログサーバへの SCP 配信。   |
| 25  | [TCP]   | 発信<br>(Out) | 任意 (Any)               | 電子メール送信用 SMTP。  |
| 25  | [TCP]   | 入力          | AsyncOS IP             | バウンスされた電子メールを受信する SMTP または外部のファイアウォールから電子メールをインジェクトする場合。                        |
| 53  | UDP/TCP | 発信<br>(Out) | DNS サーバ                | インターネットルートサーバまたはファイアウォール外部の DNS サーバを使用するように設定されている場合の DNS。また、SenderBase クエリの場合。 |
| 80  | HTTP    | 入力          | AsyncOS IP             | システム モニタリングのための GUI への HTTP アクセス。   |
| 80  | HTTP    | 発信          | downloads.ironport.com | McAfee 定義を除くサービス更新。   |
| 80  | HTTP    | 発信          | updates.ironport.com   | AsyncOS アップグレードおよび McAfee の定義。  |
| 80  | HTTP    | 発信          | TAXII サーバ              | ゲートウェイで外部脅威フィードを使用できるようにします。  |
| 82  | HTTP    | 入力          | AsyncOS IP             | スパム隔離の表示に使用されます。  |
| 83  | HTTPS   | 入力          | AsyncOS IP             | スパム隔離の表示に使用されます。  |
| 110 | [TCP]   | 発信<br>(Out) | POP サーバ                | スパム隔離のためのエンドユーザの POP 認証。  |
| 123 | UDP     | 入力および出力     | NTP サーバ                | タイムサーバがファイアウォールの外側にある場合の NTP。   |
| 143 | [TCP]   | 発信<br>(Out) | IMAP サーバ               | スパム隔離のためのエンドユーザの IMAP 認証。   |

|                 |       |             |   |  |
|-----------------|-------|-------------|---|--|
| 161             | UDP   | 入力          | AsyncOS IP  | SNMP クエリ。  |
| 162             | UDP   | 発信<br>(Out) | 管理ステーション  | SNMP トラップ。   |
| 389 または<br>3268 | LDAP  | 発信<br>(Out) | LDAP サーバ  | LDAP ディレクトリ サーバがファイアウォールの外側にある場合の LDAP。Cisco スпам隔離のための LDAP 認証。 |
| 636 または<br>3269 | LDAPS | 発信<br>(Out) | LDAPS   | LDAPS — ActiveDirectory のグローバル カタログ サーバ (SSL 使用)                 |
| 443             | [TCP] | 入力          | AsyncOS IP  | システム モニタリングのための GUI への Secure HTTP (https) アクセス。                 |
| 443             | [TCP] | 発信<br>(Out) | res.cisco.com   | アップデート サーバの最新のファイルを確認します。  |
| 443             | [TCP] | 発信<br>(Out) | update-manifests.ironport.com   | アップデート サーバから最新のファイルのリストを取得します (物理ハードウェア アプライアンスの場合)。             |
| 443             | [TCP] | 発信<br>(Out) | update-manifests.sco.cisco.com  | アップデート サーバから最新のファイルのリストを取得します (仮想アプライアンスの場合)。                    |
| 443             | [TCP] | 発信<br>(Out) | phonehome.senderbase.org  | アウトブレイク フィルタの受信/送信。  |
| 443             | [TCP] | 発信<br>(Out) | コマンドライン インターフェイスで <code>websecurityadvancedconfig</code> コマンドを実行し、すべてのデフォルトを受け入れます。Web セキュリティ サービスのホスト名が表示されます。 | URL フィルタリングに使用する URL レピュテーションとカテゴリの情報を取得するためのクラウド サービス。          |

|     |       |             |  |  |
|-----|-------|-------------|--|--|
| 443 | [TCP] | 発信<br>(Out) | [セキュリティサービス (Security Services) ]> [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis) ]の [ファイルレピュテーションの詳細設定 (Advanced Settings for File Reputation) ]セクションの [クラウドサーバープール (Cloud Server Pool) ]で設定されているとおりです。  | 設定されている場合、これはファイルレピュテーションを取得するためにクラウドサービスにアクセスするためのポートです。デフォルトポートは 32137 です。ファイル分析サービスの場合はポート 443 を参照してください。 |
| 443 | [TCP] | 発信<br>(Out) | [セキュリティサービス (Security Services) ]> [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis) ]の [ファイル分析の詳細設定 (Advanced Settings for File Analysis) ]セクションで設定されているとおりです。  | ファイル分析のためのクラウドサービスへのアクセス。ファイルレピュテーションサービスの場合は、ポート 443 または 32137 を参照してください。                                   |
| 443 | [TCP] | 入力および出力     | [セキュリティサービス (Security Services) ]> [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis) ]の [ファイルレピュテーションの詳細設定 (Advanced Settings for File Reputation) ]セクションの AMP for Endpoints コンソールの統合のパラメータで設定されているとおりです。<br><br>api.amp.sourcefire.com<br>api.eu.amp.sourcefire.com<br>api.apjc.amp.sourcefire.com<br>api.amp.cisco.com<br>api.eu.amp.cisco.com<br>api.apjc.amp.cisco.com | AMP for Endpoints コンソール サーバにアクセスします。   |

|         |         |            |   |  |
|---------|---------|------------|---|--|
| 443     | [TCP]   | 入力および出力    | outlook.office365.com<br>login.microsoftonline.com。 | メールボックス自動修復のために Office 365 サービスにアクセスします。                                       |
| 443     | [TCP]   | 発信 (Out)   | aggregator.cisco.com                                | Cisco Aggregator サーバにアクセスします。  |
| 443     | HTTPS   | 発信         | logapi.ces.cisco.com                                | シスコ TAC によって収集されたデバッグ ログをアップロードするため。   |
| 443     | HTTPS   | 発信         | TAXII サーバ   | ゲートウェイで外部脅威フィードを使用できるようにします。   |
| 514     | UDP/TCP | 発信 (Out)   | Syslog サーバ  | Syslog ロギング。   |
| 628     | TCP     | 入力および入力    | AsyncOS IP  | 外部ファイアウォールから電子メールをインジェクトする場合の QMQP。  |
| 990     | TCP/FTP | 発信         | support-ftp.cisco.com                               | シスコ TAC によって収集されたデバッグ ログをアップロードするため。   |
| 1024 以降 | —       | —          | —   | ポート 21 (FTP) に関する上記の情報を参照してください。   |
| 2222    | CCS     | 入力および入力    | AsyncOS IP  | クラスタ通信サービス (中央集中管理用)。  |
|         | [TCP]   | 発信 (Out)   | AsyncOS IP  | Cisco スпам隔離。  |
| 7025    | TCP     | In および Out | AsyncOS IP  | この機能を集中化する場合、E メールセキュリティ アプライアンスとセキュリティ管理アプライアンス間でポリシー、ウイルス、アウトブレイク隔離データを渡します。 |

